



6月園だより

令和 8年 6月1日
目黒区立大岡山保育園園長

散歩先や園庭で小さな生き物に出会う機会が増えてきました。先日2歳児クラスの子どもたちは東科大に散歩に行き、たくさんのダンゴムシを容器に入れ持ち帰り「ただいま」「見て、ダンゴムシ」とキラキラした目で一生懸命教えてくれました。人参を食べたダンゴムシのうんちはオレンジ色になることを本で知り、早速人参をあげてみました。結局うんちはオレンジ色にはならなかったようですが、仮説から実験し結果を導いた子どもたちはまるで科学者のようでした。生活や遊びの中で「なんでだろう」と疑問に思ったり「～になるかもしれない」と推測してみたりし、それを試してみることで子どもは興味を深め、学びへと繋がっていきます。乳幼児期の経験がいつしかその子どもの将来に大きく影響することもあるのです。人間の土台作りの時期である乳幼児期の保育に携わる者として、一人ひとりの子どもの可能性を狭めてしまわないよう、それぞれの好きな遊びや興味を探り、環境を整え援助していきたくと改めて感じた一場面でした。

5月はたくさんの保護者の方にクラス懇談会に出席していただき保育内容をお伝えすることができました。今月も3クラス計画しておりますので、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

〈6月の予定〉

歯科健診（全園児）
シャワー開始
眼科検診（全園児）
耳鼻科検診（3・4・5歳児）
プール開き
中旬 身体測定 避難訓練



〈6月懇談会の予定〉

1歳児クラス
0歳児クラス
4歳児クラス

〈7月の予定〉

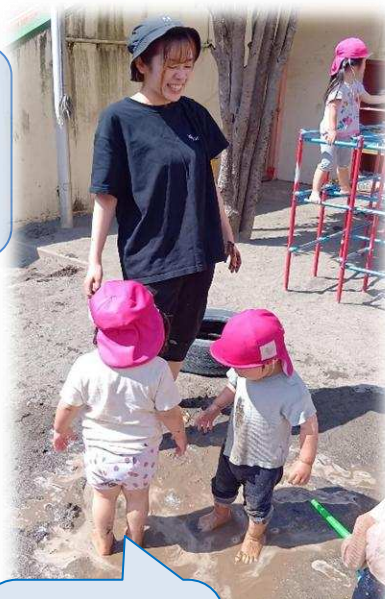
七夕集会
中旬 身体測定 避難訓練

どろんこ遊びの様子

特製装置で砂場に水を流し込み…



とろとろの感触に夢中…



裸足で遊ぶのも気持ちいい！



水路の完成！船などを流して遊びました



トンネルが雨降り装置に様変わり！

入園・進級して2カ月が経ちました。

0・1歳児の遊びを楽しむ姿をお伝えします。



0歳児
いちご組

新しい環境に慣れ、保育士に見守られながら探索や
気になった玩具を手に取り遊んでいます。

入園当初から遊んできたテラスは、出入り口を開け
ると皆が嬉しそうに這い這いで出ていくようになり
ました。テラスではマットの山やトンネルを這い這い
して楽しんでいます。最初のころは、トンネルをくぐ
ろうとしない子もいましたが、保育士がくぐってみせ
「おーい」と呼ぶと“楽しそう、やってみよう”とや
り始め、トンネルの向こうにいる保育士のところまで
くぐって行くととても嬉しそうに笑っていました。歩
行が出来るようになった子は保育士のところにトコ
トコと歩んだりして楽しんでいます。

これからも信頼関係を大切に、子どもたちがのびの
びと楽しく過ごせるように保育していきます。



せんせい
いたいた



1歳児
もも組



築山のぼりの様子

よいしょ
よいしょ



お気に入りの
玩具と同じもの
があったぞ

入園・進級してしばらくは新しい環境の中で不安
そうに泣いたり、保育士のそばにいたりする姿が多
かったのですが、好きな遊びができると、安心でき
る環境が広がっていきました。園庭は部屋よりも広
く、不安を感じるお子さんもいましたが、まずは砂
遊びが気に入って遊べるようになると、だんだんと
友達の遊びの様子にも目を向けるようになりました。
そして“あっちにも行ってみようかな”と保育
士の元を離れて探索に出かけ、部屋のお気に入りの
玩具と似たようなものを見つけると“ここにもあつ
た”と嬉しそうな表情を浮かべています。園庭での
楽しみが増えてくると、どんどん探索する範囲が広
がり、築山を登ってみたり泥の水たまりに手を入れ
てみたりと興味も広がっています。安心できる世界
を広げていく中で、子どもたちの発見や気づきに共
感し、興味を広げていきたいと思えます。

